

6. いろいろなドングリ

○ねらい：普段、なにげなく見ているドングリ。でもドングリという名前の木はありません。そのドングリはどんな木の実なのか、その種類を調べてみましょう。

●対象地：柏木公園・弥富公園南側樹林地・社寺境内林・公園など

ドングリとは

みなさんがよく知っている「ドングリ」とは、カシ・ナラ・カシワ・シイなどの仲間（なかも）の木、つまりブナ科（そうしやう）の木になる実の総称（そうしやう）なのです。

瑞穂区（みずほく）内でも、昔からの林（もり）や神社（しんじや）やお寺（おてら）の境内林（けいだいりん）で、また公園（こうえん）や街路樹（がいじゆ）の中にもドングリの実（み）をつける木（き）があります。ドングリ（かぐと）の形（かたち）は丸（まる）いもの（もの）や細長（ほそなが）いもの（もの）があり、また殻斗（かぐと）の形（かたち）もいろいろあります。

これらの特徴（とくちょう）から木（き）の種類（しゆるい）が分（わ）かります。

ドングリと葉（みしやう）の名称

ドングリ（かぐと）の見分け方（みわけかた）と用語（かいせつ）解説（かいせつ）

果（か）実（じつ）：ドングリ

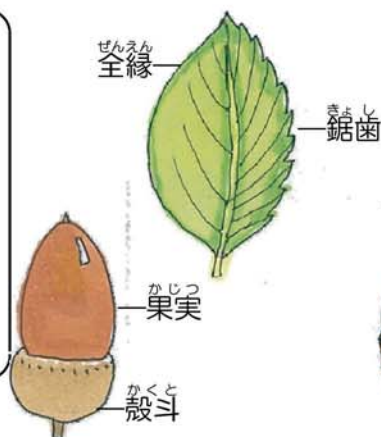
殻（か）斗（と）：木（き）とドングリ（かぐと）の間に（ま）ついている

お皿（おしら）のような形（かたち）のもの

常（じやう）緑（りよく）樹（じゆ）：一（い）年（ねん）中（ちゆう）緑（りよく）の葉（は）を（を）つ（つ）けて（て）いる樹（じゆ）木（もく）

落（らく）葉（よう）樹（じゆ）：冬（ふゆ）に（に）は葉（は）を（を）落（お）と（と）す樹（じゆ）木（もく）

鋸（のこ）歯（し）：葉（は）の縁（えり）に（に）あ（あ）るぎざぎざ（ぎざぎざ）の切（き）れ込（こ）み



ドングリ（かぐと）の種類（しゆるい）の見分け方（みわけかた）

ドングリ（かぐと）の殻斗（かぐと）の形（かたち）は？

ふくろ型（がた）

さら型（がた）

ドングリ（かぐと）の実（み）の形（かたち）は？

常（じやう）緑（りよく）樹（じゆ）？落（らく）葉（よう）樹（じゆ）？

丸（まる）い

細（ほ）長（なが）く三（さん）角（かく）

ツブラジイ

スタジイ

落（らく）葉（よう）樹（じゆ）

殻斗（かぐと）の形（かたち）は？

常（じやう）緑（りよく）樹（じゆ）

とげ（とげ）がた（た）くさ（さ）ん
生（は）えて（て）い（い）る

丸（まる）い殻斗（かぐと）
ドングリ（かぐと）のおしり（しり）は丸（まる）い

殻斗（かぐと）の模（も）様（よう）は？

しま模（も）様（よう）

アベマキ

コナラ

うろこ模（も）様（よう）

マテバシイ

ドングリ（かぐと）のおしり（しり）が（が）へ（へ）こ（こ）んで（て）い（い）る

葉（は）っぱ（は）の形（かたち）は？

ぎざぎざ（ぎざぎざ）で細（ほ）長（なが）い

ギザギザ（ギザギザ）で幅（は）ひろい

シラカシ

アラカシ

見分け方（みわけかた）のポイント

- ①ドングリ（かぐと）の大きさ（おほきさ）や形（かたち）を（を）観（み）て（て）み（み）ま（ま）し（し）ょう（しょう）。
- ②殻斗（かぐと）のかた（か）ち（ち）や模（も）様（よう）を（を）観（み）て（て）み（み）ま（ま）し（し）ょう（しょう）。
- ③葉（は）は常（じやう）緑（りよく）か落（らく）葉（よう）か、ど（ど）ち（ち）ら（ら）で（で）し（し）ょう（しょう）。
- ④鋸（のこ）歯（し）が（が）あ（あ）る（る）か無（な）い（い）か観（み）て（て）み（み）ま（ま）し（し）ょう（しょう）。

みずほく
瑞穂区のドングリ発見！

けいだいりん じゅもく さが
林や境内林、また、まちの中の樹木や庭の木でドングリを探してみましょう。そして見つけたドングリについて、①どこにあったか、
とくちょう かじつ かくと とくちょう かんさつ
②葉の特徴、③果実や殻斗の特徴を観察しながら、④スケッチをして、名前を調べてみましょう。

見つけ
た場所

葉の特徴・スケッチ

殻斗の形

ドングリのスケッチ

●常緑樹 ●全縁	●常緑樹 ●全縁	●常緑樹 ●鋸歯あり	●常緑樹 ●鋸歯あり	●常緑樹 ●全縁	●落葉樹 ●鋸歯あり	●落葉樹 ●鋸歯あり
●細長く三角の実 ●ふくろ型の殻斗	●丸い実 ●ふくろ型の殻斗	●丸い実 ●しま模様の殻斗	●丸い実 ●しま模様の殻斗	●長く大きな実 ●うろこ状の殻斗	●長く大きな実 ●うろこ状の殻斗	●丸く大きな実 ●とげ状の殻斗
●スダジイ	●ツブラジイ	●アラカシ	●シラカシ	●マテバシイ	●コナラ	●アベマキ